

■ 歳入確保の方策について ■

- ◆ 財政改革審議会中間答申では、特別会計繰出金や職員人件費など、歳出削減の記載が多く、歳入確保策についての本格的な議論は今後の課題とされていた。
- ◆ そこで、最終答申では歳出面だけでなく歳入面での方策も盛り込み、歳入・歳出の両面から財政健全化を目指すこととする。
- ◆ 歳入確保の方策を議論するため、以下の5つに分類した。
 - ① 市税・国保税収入の確保
 - ② 受益者負担の見直し
 - ③ 市税以外の市債権の適正な管理
 - ④ 財産の活用
 - ⑤ その他の歳入確保
- ◆ 分類別の主な項目と国立市の対応状況は「審議会資料№10-11」のとおり